

おくやみ

経済同友会 元副代表幹事の 宮田孝一氏のご逝去されました。 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

三井住友銀行取締役会長で、経済同友会では副代表幹事を務めた宮田孝一氏が、2021年10月24日、67歳で永眠されました。

宮田さんは、経済同友会で米州委員会、国際金融市場委員会、民主主義・資本主義のあり方委員会、国際問題委員会の委員長などを務め、2016年から2020年にかけて、副代表幹事として小林喜光・櫻田謙悟の両代表幹事を支えられました。



宮田 孝一(みやた・こういち)氏

経済同友会歴

2011年 5月 入会
2014年 4月～2016年 4月 幹事
2016年 4月～2020年 6月 副代表幹事
2020年 6月～2021年 10月 幹事

主な委員会活動等

2014年 4月～2015年 3月 米州委員会 委員長
2015年 4月～2017年 3月 国際金融市場委員会 委員長
「金融グループを巡る制度のあり方に関する
ワーキング・グループ」に対する意見発表
2017年 4月～2019年 3月 民主主義・資本主義のあり方委員会 委員長
報告書『包摂的な社会実現への処方箋～日本及び日本企業のあり方～』発表
2019年 4月～2020年 3月 国際問題委員会 委員長
報告書『変容するグローバル社会における新たな「連携」のあり方
～日本が目指すべきところ～』発表

宮田孝一さんを偲んで 小林 喜光 前代表幹事

宮田さんは2016年度に経済同友会の副代表幹事に就任されました。その前年から代表幹事の任に就いていた私にとって、強力な援軍がついてくれたと心強く感じたのを覚えています。

宮田さんは一見寡黙でしたが、優しさを持ちつつも非常に熱いものを内に秘められた稀有な銀行家でした。緻密なデータに裏打ちされた理路整然としたご発言には要所で助けていただきました。世界のあるべき姿を模索しながら、真摯に経済同友会活動に取り組まれていたお姿が、昨日のここのように思い出されます。

宮田さんは2016年度まで国際金融市場委員会の委員長として、当時の欧米の量的金融緩和の出口問題、ユーロ圏の政治・財政・金融問題、中国のシャドーバンキングなど、国際情勢の鍵となる重要な問題に向き合われました。

そして2017年度以降は、民主主義・資本主義のあり方委員会の委員長という重責を快くお引き受けいただき、探求の対象を人類の深淵なるテーマにまで広げて活動されました。当時は、トランプ政権の誕生や英国民によるブレクジット選択など、保護主義的な動きが世界各地で顕在化し始めた時期です。グローバル化と格差、社会の分断、個人・国家・企業の関係性変容による民主主義と資本主義の危機は、いまだ人類が直面している大きな問題ですが、この委員会の活動が、われわれの卒論テーマであった「Japan 2.0」を形作る上で極めて重要な役割を担っていたことは申し上げるまでもありません。

2017年の10月には、まさに世界の変容をこの目で見ようと、代表幹事ミッションでフランス・パリ、英国・ロンドンへと赴きました。宮田さんにもご同行をいただき、欧州金融機関との意見交換をはじめ、随所で強力なサポートをいただきました。予定がぎっ

しりと詰まった強行軍でしたが、隙間時間にエッフェル塔の前でバスを降りて一緒に散歩し、パリの空気を味わったことが印象に残っています(下写真)。

軽井沢での夏季セミナーでも、奥様とご一緒に参加され、われわれ夫婦共々仲良くさせていただきました。

実は、最近もビジネス上の一件で、9月1日にお伺いしたばかりでした。その時はお元気そうだっただけに、あまりにも早く突然のご逝去、いまだ信じられない思いです。

ここにあらためて、ご生前のご厚誼とご厚情に御礼申し上げ、謹んで哀悼の意を表します。



代表幹事ミッションでパリを訪れた。左から3人目(17年)